

～教育・保育所実習を終えて～

初めての教育・保育所実習であったため、緊張と不安の気持ちでいっぱいでしたが、子どもたちが温かく受け入れてくれたり、保育者からの手助けのおかげもあり楽しく充実しながら教育・保育所実習を終えることができました。普段の講義や教科書では学べないことを学ぶことができたり、自分が学習したことを実際に目で見て学びを深めたり、そこから考えて援助や声掛けを実践したくさんの気づきや自分自身の課題を見つけることができました。また、保育者の方々の援助や声掛けをしている様子、保育者の方々からの丁寧でわかりやすい助言や質問の回答から、たくさんの学びを得ることができました。実際に手遊びや絵本の読み聞かせも行いました。とても緊張しましたが子どもたちが元気よく楽しみながら手遊びをしたり、絵本の読み聞かせのときには私がした問いかけについて子どもたちがたくさん反応してくれたり、集中しながら見ている姿を見ることができてとても嬉しく、とても良い経験ができてよかったと思いました。そして実習で一番嬉しかったことは子どもたちが描いた絵をプレゼントしてくれたことです。私の似顔絵を描いてくれたり、私の名札を見ながら一生懸命に私の名前を書いてくれたり、「先生にピンクの大きいハートをあげたい」と紙いっぱい大きくハートを描いてくれたりと子どもたちの心がたくさん込められていてとても嬉しかったです。教育・保育所実習を通して、保育者になりたいという気持ちがさらに大きくなりました。



写真は実習で使用したエプロンです！このエプロンを着ていたら子どもたちが「イチゴおいしそうだね」や「イチゴとクリームがついていてケーキみたいだね」と声をかけてくれたり、そのイチゴをとって食べる真似をしたりと子どもとコミュニケーションをとるきっかけになりました。

